



みなみかぜ

令和3年度学校教育目標

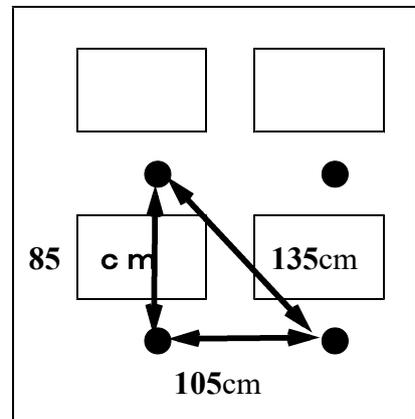
「ふるさとと人を愛し、自らの夢に向かって、力強く歩み続ける子どもの育成」

単学級の学年への支援について

昨年度は全学年2学級でしたが、本年度は児童数の関係で、1年と3年が単学級となりました。(1年32名、3年36名です。)

これまでと違って、教室は密になっていないのか、担任の先生が1人で学習は大丈夫なのかといった不安もあられると思います。そこで、1年と3年の教室の状況や学習や生活の支援について説明させていただきます。

まず、文科省から示してある40人学級での座席の配置の目安は、右の図のようになっています。本校では、この基準を達成するために、教室側面の棚を隣の空き教室の方に移動し、座席の空間を確保しました。そのためランドセルなどの大きな荷物は、隣の教室に置くことになります。



続いて、学習や生活の支援についてです。本年度単学級になる可能性が予想されていたので、町から新たに学習支援員と生活支援員の先生方を1名ずつ増やしていただきました。

まず、4・5月の支援員等の先生方の配置を以下のように行います。

学 年	学習支援員	生活支援員	算数少人数指導
1 年	本田小百合先生	平田 玲子先生	/
3 年	中村 綾子先生		

1年生は、担任・学習支援員・生活支援員の1学年3名の職員で子どもたちを見ていくことで、早く学校に慣れ落ち着いた学習や生活ができるように支援していきます。

3年生については、36名と本校で1番人数が多い学年ですので、学習支援員の先生を配置するとともに、昨年度4・5年で行っていた算数少人数指導を本年度は3年・5年で行うことにしました。学力の定着についてもしっかりと図っていききたいと思います。

6月以降は、学年の状況に応じて変更の可能性もありますが、子どもたちへの指導や支援が十分行われるよう配慮したいと思います。お尋ねになりたいことやご不明なこと等ありましたら、お気軽に学校(校長)までお問い合わせください。

